子どもたちの夏の遊び場について

政進会　森　英之

問 猛暑の中、子どもの遊び・運動機会の確保の対応として、市では現在どのような対策を講じているでしょうか。また、今後検討している施策があれば教えてください。

答（市長）…全国各地で最高気温が35度を超える猛暑日が相次いでいることから、外遊びが制限されることは認識しており、本市ではポテカの導入や防災行政無線による熱中症予防の周知を図っています。

答（教育長）…状況として5年後も今までのような学校教育活動ができるのか心配しています。今年度で市内全小中学校の体育館の空調整備が完了します。今後の体育館の利用方法については課題の一つであると認識しています。

問 酷暑が続くタイミングで市内全小中学校の体育館の空調が整備されることで、猛暑下でも冷房の効いた体育館では安全に体を動かすことができます。そこで夏休みに子どもも向けに体育館を開放することを検討いただけませんか。

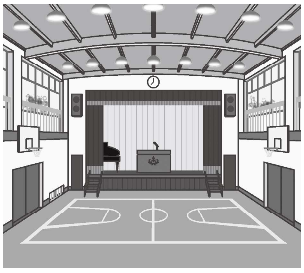
答（教育部次長）…体育館を開放するには夏休み期間の利用状況を踏まえて調整などをする対応が必要となります。

問 あそびっ子クラブの活用や地域の皆さまなどとの連携、午前や夕方の短時間枠、安全管理人員の確保など参加ルールの整備をしながら、運営面の改善や修正を前提とした試行をできればと思いますが、今後の考えを伺います。

答（教育長）…来年度13校全部一斉には難しいですが、子どもたちが涼しい体育館で遊ぶのは普通の形だと思います。せっかく作ったものは活用すべきですので、運用については今後また検討させていただきたいと考えます。

その他の質問

・学校給食について
・子どもたちの通学負担の軽減について



化学物質過敏症の人やにおいに敏感な人への合理的配慮について

涼風の会　吉田　みな子

問 市として、フレグランスフリー・ポリシー（香料自粛の方針）をとっていただきたいですが、今すぐ難しいのであれば、今ある枠組みの中から、具体的な対策へと広げていくこともできるのではないかと考えます。例えば、障害者差別解消法における合理的配慮が必要な方に化学物質過敏症の方を含むと明言している自治体もあり、化学物質過敏症などの方々が事業者に配慮を求めるとき、事業者の理解を得る助けにもつながります。市における化学物質過敏症などの方に対する合理的配慮についての認識と見解を伺います。また、学校においても化学物質過敏症やにおいに敏感な子どもが安心して過ごせるために、人工香料などのにおいのないフレグランスフリーの環境を整えることが必要だと考えますが、教育委員会の考えを伺います。

答（市長）…化学物質過敏症は周囲の人に理解されにくいため、相談者に寄り添った対応が重要だと認識しています。多くの方に理解していただくことが合理的配慮につながると考えておりますので、情報発信を継続するとともに市民への丁寧な対応と適切な支援を行ってまいります。

答（教育部次長）…本市教育委員会では小中学校向けに化学物質過敏症に関する啓発資料を作成し、学校などで活用を進める準備をしています。化学物質過敏症は、その原因や症状などが個々に異なるため、学校で今後どのような環境を整えていく必要があるかについては、相談をいただいた保護者や子どもたちに寄り添った対応を図りながら検討していきたいと考えています。

その他の質問

・海老名駅東口自由通路延伸計画について
・安全で快適な自転車環境を整えることについて

路上喫煙問題と快適なまちづくりについて

立憲民主えびな　たち　登志子

問 海老名駅の東西に3カ所あった喫煙所が2カ所に減少している現状について、どのように認識していますか。また、路上喫煙の再発やポイ捨て増加、そしてマナーを守る喫煙者の利便性が損なわれていることの見解を伺います。

答（経済環境部長）…喫煙所廃止後も美化推進員のパトロールにより路上喫煙およびたばこのポイ捨て防止効果が継続しています。丁寧に根気よく指導することで多くの喫煙者にマナーを守っていただけるようになり、喫煙所廃止による路上喫煙の再発やポイ捨ては少ないという認識です。

問 喫煙所の不足はかえって路上喫煙の増加につながる懸念もあります。今後、同駅周辺の喫煙所の配置や数について、どのような方向で対応していく考えなのか伺います。

答（経済環境部長）…全国的に喫煙率が低下する傾向の中で、喫煙所については、社会情勢や地域特性などを考慮しながら必要に応じた対策を講じていきたいと考えています。

問 海老名駅周辺にとどまらず、市内の各駅周辺や公共施設の周辺などに、喫煙場所を適切に配置した上で、路上喫煙禁止地区を拡大する検討をお願いしたいのですが、見解を伺います。

答（経済環境部長）…人が多く集まる場所への喫煙所の設置は、漏れてくる煙で受動喫煙のリスクが高まり健康被害につながるなど非常にデリケートな問題なので慎重な判断が必要となります。現時点では路上喫煙禁止地区の拡大は検討していませんが、今後の状況の変化に適切に対応していきたいと考えています。

その他の質問

・熱中症対策と公共サービスを支える労働環境について